



大西暢夫監督作品

オンラインでも鑑賞、参加できます！

「オキナワへいこう」上映会



あらすじ：大阪の精神科病院に長期入院する患者さんの「沖縄旅行に行きたい」という夢を実現するために、患者さんが中心となり、病院のスタッフや支援者たちと一緒に主治医の説得を試みる。沖縄旅行を軸に精神科病棟の長期入院の現実をユーモラスに描いたドキュメンタリー映画。

トークセッション：

大西暢夫*川村有紀¹*安保寛明²

(¹：精神医療ユーザー/ピアスタッフ、²：山形県立保健医療大学)

日時：2020年11月7日(土)

14:00- (受付 13:30-)

場所：県立保健医療大学 第2講義室

参加費：1,000円



会場参加 対象：県内在住の保健医療福祉関係者等 / 定員70名

オンライン(Zoom)参加 対象：どなたでも / 定員100名 ※事前申し込み後に視聴方法などお知らせいたします。

受付：当日も受け付けますが、できるだけ事前に「バスマーケット」で申し込みをお願いします。



(事前申込み用QRC)

運営：映画「オキナワへいこう」上映会 実行委員会 映画配給：おめでたい作業所

協力：山形県精神保健福祉士協会、山形県医療ソーシャルワーカー協会、
Hmc やまがたラボラトリー、UNTO ネットほか

問合せ：990-2212 山形県山形市上柳 260 番地 山形県立保健医療大学 安保研究室

FAX：023-686-6735 メールアドレス：unto_net@icloud.com

感染予防のため、会場にお越しの際はマスク着用をお願いします。
発熱等の感冒症状がある際は参加をお控えください。

映画「オキナワへいこう」を観に行こう！

上映会の開催にむけて：

映画のおもな舞台は、大阪府堺市にある浅香山病院の精神科病棟。何十年のあいだの長期入院という患者さんが沢山暮らしています。ある方が「沖縄へ行ってみたい」と夢を語ったことをきっかけに、沖縄旅行にむけて動き出します。紆余曲折をへて、沖縄旅行の時が。海を眺め、歓迎会で「ふるさと」を合唱するなどの場面がやってきます。一方で、そもそも主治医から「外泊」許可が下りない方、再入院する方など、この映画は単に感動の物語というわけではありません。私たちは何を感じるのでしょうか。

トークセッションについて：

トークセッションには、仙台市で精神医療のピアスタッフとして活動する川村有紀さんをお招きし、山形市で精神保健と精神看護について学生への講義や行政機関への助言を行っている、山形県立保健医療大学の安保寛明とともに対談します。このお二人は旧知の間柄で、お互いを尊重しながら感想や解説を話し合う予定です。

また、なんと、この作品の監督である大西暢夫さん自身もオンラインでの参加予定となりました！撮影に至る思いや経緯、撮影後の反響など、制作に関わるエピソードも紹介いただく予定です。

映画「オキナワへいこう」上映会参加申込

事前お申込み、お支払いをできるだけインターネットからお願いします。

事前申し込み・支払い用URL (パスマーケット)

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/016k1n118730t.html>



FAXなどでお申し込みの場合には以下のフォーマットでお申し込みください。

ふりがな お名前	参加方法(どちらか選択ください) <input type="checkbox"/> 現地参加 <input type="checkbox"/> オンライン(ZOOM)参加
連絡先(ここで書かれた情報は、原則的に上映会の開会/中止にまつわる運営でのみ用います。) (電話番号・E-mail)	
今後、同様の企画をした場合に、通知を希望しますか？ (連絡先として上記に書かれた電子メールを通じて通知します。) <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	
通信欄 (小さなことでも構いませんので、期待すること、心配ごとをご記入ください。)	

FAX:023-686-6735 E-mail: unto_net@icloud.com

「オキナワへいこう」上映会 実行委員会 宛